

西洋文化史概説 1-51 小テスト (2)

次の設問 1～10 の短文の正誤を判断し、短文が正しければ記号の a を、間違っていれば記号の d を選択せよ。

1. アリストテレスは国政の形態はどの階層が軍事力の主力となっていたのかによって規定されると主張している。
2. マックス=ウェーバーは農業の発展と軍事技術の変遷が都市の性格を規定したと論じた。
3. ロリマーは密集歩兵陣（ファランクス）を特徴とする重装歩兵戦術が前7世紀から6世紀にかけて改革されていったと論じた。
4. ロリマーは重装歩兵階級を一種の革命的大衆と考えている。
5. スノドグラスは重装歩兵戦術が騎馬の重装歩兵である貴族によって前8世紀の末に完成されたと論じた。
6. マラ톤の戦いを戦ったのは新しいタイプの徒歩の重装歩兵である。
7. ラタクツはホメロスの英雄たちが一騎打ちの個人戦を戦っていたと考えている。
8. プリチェットは戦術が武器を決定したとし、暗黒時代において重装歩兵戦術は既にあらわれていたと主張した。
9. ラーフラウプは僭主制と重装歩兵とが密接に関連していると考えている。
10. ファン=ウィースはホメロスの集団戦が重装歩兵の密集陣による戦闘とは異なると論じている。